

科目名	映像リテラシーD 1							年度	2025
英語科目名	Image Literacy D1							学期	前期
学科・学年	放送芸術科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	岡本智拓	教員の実務経験		有	実務経験の職種		映像編集業務		
【科目の目的】 テレビ業界に就業した際に基本となる知識を付けて、プロになる自覚をもってもらう事を目的にする 映像技術に関する基礎を身につけ、実習にも活かせる事を目的とする									
【科目の概要】 TVや映画にとどまらない作品研究を行い、映像を学びます。									
【到達目標】 放送業界で使われている技術の基礎を幅広く学び就職後に役立たせる。自分の興味のある職種以外の技術を学ぶことにより、知らなかったことにも興味を持つ意識をつけることを目標とする。									
【授業の注意点】 キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標 A	映像の基礎を学ぶ理由を理解し、映像の仕組みが分かる		映像の基礎を学ぶ理由を理解できるが、映像の仕組みが分からない					映像の基礎を学ぶ理由を理解できず、映像の仕組みも分からない	
到達目標 B	電波の仕組みが わかる。 映像を電波にのせる技術が理解できる。		電波の仕組みが わかる。 映像を電波にのせる技術が理解できない。					電波の仕組みが わからず、 映像を電波にのせる技術が理解できない。	
到達目標 C	DVDやBDメディアの 仕組みを理解しコピーガードの技術を理解する		DVDやBDメディアの仕組みを理解する。コピーガードの技術を理解できない					DVDやBDメディアの仕組みを理解できず、コピーガードの技術を理解できない。	
到達目標 D	TVモニターの 歴史を理解し、仕組みが理解できる。		TVモニターの 歴史を理解できる。 仕組みが理解できない。					TVモニターの 歴史を理解できず、 仕組みが理解できない。	
到達目標 E	ENGの基礎を理解し、中継技術が理解できる。		ENGの基礎は 理解するが、 中継技術が理解できない。					ENGの基礎を 理解できず、 中継技術も理解できない。	
【教科書】 資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

